



# 寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会  
介護老人福祉施設 寿楽荘  
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497  
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705  
URL <http://web.futabakai.or.jp>  
e-mail [jiyurakusou@futabakai.or.jp](mailto:jiyurakusou@futabakai.or.jp)

第48号



## 平成二十五年度 事業計画・予算

### 双葉会診療所の紹介とご挨拶

社会福祉法人双葉会診療所

事務長 島崎隆一

長く厳しかった冬もようやく終わり、奥多摩の山々が新緑に輝く季節を迎え、寿楽荘利用者様、ご家族の皆様方におかれましては健康やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

双葉会診療所は、東京都でも数の少ない、「社会福祉法人が運営する診療所」として、昭和四十三年八月に認可を受け、寿楽荘内に開設されました。

平成十一年寿楽荘の改革に伴い、現在地（渡り廊下にて寿楽荘に接続しています。）に移動、入院患者様十名を受け入れることのできる有床診療所です。

診療科目は、内科・外科・精神科・放射線科を標榜しており、平日午前中は一般外来、午後は予約による外来診療を行っております。

本誌、「医務・診療所コーナー」でご存じの片倉和彦院長を中心に、寿楽荘高倉医師、看護師、寿楽荘スタッフ、看護補助者等と力を合わせ、寿楽荘、琴清苑、及び他福祉施設の利用者様、地域住民の方々と、幅広い方々のお役にたてるよう努力しております。

歯科につきましては、「高橋スマイル歯科」様にご協力をいただきまして利用者様に対応しております。

片倉院長は希少な「手話」のできる医師であり、患者様との会話を大切にされる方ですので、医師との会話（手話）を求める患者様が都内はもとより、遠方からも少なからず来院されております。

（地域の患者様とは農作物等の会話が弾んでいるようです。）  
小さな診療所ですので、到らないところが多々あるとは存じますが、利用者様の医療に関しまして、ご不明、疑問がございましたらなんなりと、お尋ねください。

医療を取り巻く環境は、T P P（環太平洋経済連携協定）もあり、今後大きな変化が予想されますが、当診療所は、変化に対応しつつ、法人の理念であります「心の医療と福祉」を努める所存です。

今後ともご理解、ご協力をおねがいをいたしまして、診療所の紹介とご挨拶とさせていただきます。



### 社会福祉法人双葉会事業計画

#### I. 目標

総人口の減少・過疎化と少子高齢化著しい町に存在する社会福祉法人として、長期的視野に立ち従来よりの、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保に努めるとともに、新卒者を含めた若年層の専門職育成を推進します。

また、各施設が地域拠点となり地域と連携したサービスの提供を推進するため、以下の計画を指針として事業の展開を図る。

#### II. 計画

- ① 役員地域分担制の継続  
地域拠点法人組織
  - ② 地域高齢者対応  
40%高齢化対策としての施設受け入れ(介護度3以上の方々)
  - ③ 全多床室請求から個室・多床室の変更  
平成27年度実施に向け検討
  - ④ 保育体制検討(こども園研究)  
幼保一元化等今後の保育施設の将来展望
  - ⑤ 職員研修規程の整備  
専門知識の高度化、技術(スキルアップ)向上と専門知識の啓蒙活動
  - ⑥ 琴清苑全面改築事業  
具体的計画の立案
  - ⑦ 処遇改善加算一律支給の継続
  - ⑧ 地震対策  
町との相互応援協定の締結
- 以上8点を重点項目として計画推進。



### 寿楽荘事業計画

#### 基本方針

今年度は減額後の新介護報酬単価での二年目の年度にあたり、経常経費の削減に努めるとともに、地域包括ケアシステムの基盤強化、医療と介護の役割分担・連携強化、介護職員の処遇改善に関する見直し等、長期的な視野に立ち事業の展開を図っていきます。

特に、介護職員の処遇改善に関する見直しについては、全職員を対象とした処遇改善手当の支給、再雇用制度の活用、福利厚生の実施により雇用の安定化を図ります。さらに現在、国が準備を進めているキャリア段位制度をOJTの一環として導入を検討するとともに介護福祉士の資格取得支援策として給与面での優遇策を施行、介護福祉士資格保持者の拡充に向けた体制作りと若年層の雇用促進・育成を推進します。

処遇面においては、各職種間の連携強化、各委員会活動の充実を推進するとともに個々のキャリアアップによるサービスの質の向上を目指します。

防災管理については、長崎の認知症グループホームでの火災等を教訓に利用者・職員がより安心して生活・勤務できるよう、更なる防災体制の強化を推進していきたいと考えています。

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目		寿楽荘会計
事業活動	事業活動収入計(1)	771,907,000
	事業活動支出計(2)	748,024,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,883,000
施設整備	施設整備等収入計(4)	4,400,000
	施設整備等収支計(5)	41,270,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-36,870,000
その他	その他の活動による収入計(7)	20,240,000
	その他の活動による収支計(8)	6,500,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,740,000
	予備費支出(10)	753,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0
	前期末支払資金残高(12)	456,234,896
	当期末支払資金残高(11)+(12)	456,234,896



### 氷川小学校児童の訪問

氷川小学校6年生児童による訪問がありました。歌と演奏を行ない、利用者皆様と一緒に歌を歌ったり、子供達が肩を叩いたり、ほのぼのとした時間を過ごして頂きました。子供達を見ている利用者皆様はいつも以上の笑顔で楽しんでいました。

### 節分会喫茶

毎月恒例の喫茶です。今回は2月という事で節分会喫茶を行ないました。

皆様、喫茶の時は楽しみにされている様子です。毎回、季節に合わせた食べ物がメニューに入るのも楽しみの一つです。美味しそうな表情で食されていました。



日常生活・行事活動状況





2月6日  
『涅槃会』



1月12日  
『羽黒三田神社囃子振興会』によるお囃子訪問



日常生活  
行事活動状況



3月20日  
『彼岸供養』



3月6日 輪投げやボーリングのレクリエーション



リハビリ室より



リハビリ作品展から

奥多摩の寒さも緩み、皆さまから寄せられる俳句や短歌になりました。体調の良い時に書き留めて下さった句、短歌など皆さんの思いの詰まった作品をご紹介します。

見上げればどんより曇る冬の空 雪には強いぞ梅の花 中川一夫  
極寒に土から覗く踏のとう 今宵の睡に春香ただよう ことぶき  
バス停の二月桜やシャンとして K

多摩川は藤の小河内、丹波、小菅 葉

雛祭り三人官女に見守られ キヨ子

淡雪に音(おと)を消されて朝寝坊 Y

季節ごとに皆さまからの作品を募集しております。発表してもよい作品がありましたら、ぜひお寄せください。ご家族の方からの原稿もお待ちしております。



栄養課からの一言

新しい一歩を踏み出す春でございます。栄養課にもピカピカの栄養士さんが入り賑やかな4月を迎えておりますが、今回は食事サービスを担当している株式会社グラディック医療給食事業部に所属し、経験・知識も豊富で笑顔の爽やかな宮業エリアマネージャー「飯島 孝氏」から一言を載せました。



<忘れられない気遣いの言葉>  
平素より大変お世話になっております。私は寿楽荘様を始め十数か所の病院・高齢者施設の業務窓口担当をしており約7年間、寿楽荘様の担当をさせて頂いております。

私の個人的な印象ですが寿楽荘様ほど、ご入居者様が「伸び伸び」と「生き生き」と毎日を過ごされている施設はたいへん少ない様に思われます。

初めて寿楽荘様を訪れた時、ロビー・食堂で、思い思いに自由に寛いでいる入居者皆様をお見かけし、この「元気の素」はなんだろう？と不思議に思いました。

私も栄養課スタッフと共に参加させて頂いている春秋の恒例行事「鯉釣り」で印象深い思い出があります。初めてイベントに出させて頂いた年、昼食配膳の準備をしている時に1人のご利用者様が私に話しかけてくれたのです。

「いつも大変ですね？御苦労様です」、「こちらこそ、いつもお世話様です」、「あなた達は調理の人？いつもありがとうね。今日は遠慮しないで、いっぱい鯉を食べてってね！」忘れられない一言でした。今まで他の施設様でも、ご利用者様から感謝の言葉を頂くことはありましたが、私どもへの配慮を含んだ気遣いの言葉は7年近く過ぎた今でも忘れられません。この言葉を聞いた時に、初めて寿楽荘様を訪れた時の印象、ご入居者様の「元気の素」が解りました。



お互いを思いやる気持ち、感謝の気持ち、職員様との信頼関係があってこそではないかと思いました。



医療・診療所コーナー

世界精神医学会スティグマ分科会シンポジウム(2013, 2, 14)片倉発表抄録

医師 片倉和彦



片倉は、大学の先輩にろうの学生がいたので、32年前から手話での会話を少しずつ習得した。大学5年のとき、ろうで知的障害の人が集う京都の施設で一緒にピーマンを収穫したことがきっかけとなって精神科医になった。今まで150人ほどのろう者を診察してきた。そのなかでいろいろな困難が生じた。当初は自分の修行が足りないためにろう者の精神医療に困難が伴うのかと思った。20年前に聴覚障害者精神保健研究集会在結成され、様々な職種の、ろう者も聴者も集まってケースレポートを積み重ねてきた。その中でろう者の精神保健に関わる人も増えてきた。理由もなしに精神科に長期入院する人は減った。ろう者も聴者と同様に、うつ病や認知症、発達障害、不安障害などの疾患をもつことがわかった。聴覚障害者自身が医療・心理スタッフとなることも増えている。全日本ろうあ連盟、日本評論社、などからの本も出ている。それでもまだ足りないところは多い。討論の中で、ろう者の精神保健を実践していくことのむずかしさは、取り組んでいる人々に共通するものだとわかってきた。

以下に片倉がろう者の診察の中で考えてきたことをあげる。

- 1、話の内容が通じ合うことが基本。
- 2、手話などのコミュニケーションによってほっとする関係が大切。
- 3、診察場面での患者の視線、表情の変化、混乱を捉える。
- 4、患者も相談者も孤立しやすいことを理解して連携を図る。
- 5、ろう文化を尊重していくこと。
- 6、ろう者自身が精神科スタッフとなるための養成を。
- 7、ろう精神医療専門機関が複数個所あればいい。



衣類確認のお願い

寿楽荘の洗濯室では日々沢山の利用者衣類を洗濯しております。洗濯に出された物は当然持ち主へ戻すよう鋭意努力をしておりますが、残念ながら名前が判別が難しくお預かりしたままとなっている衣類が多く存在することも確かです。

洗濯室は和風寮1階にあります。面会の際はぜひ一度お立ち寄りいただき、戻り先不明となっている衣類の判別にご協力ください。



※戻り先不明となっている衣類の一部です。この他に肌着などもあります。

ご家族の方で、介護、看護職として寿楽荘で働いて頂ける方が居ましたら、ご連絡をお待ちしています。年齢、性別は不問です。

職員募集のお知らせ

ご家族の方で、介護、看護職として寿楽荘で働いて頂ける方が居ましたら、ご連絡をお待ちしています。年齢、性別は不問です。



今後の行事予定

- |    |   |
|----|---|
| 4月 | ・買物バス<br>・花祭り(降誕会)<br>・花見・新緑ハイク<br>・花見会 |
| 5月 | ・買物バス<br>・母の日<br>・マス釣り<br>・さつき会         |
| 6月 | ・買物バス<br>・父の日<br>・夏物衣料品訪問販売会<br>・あじさい会  |



編集後記

桜咲く春、多くの方が新しい場所で緊張する出発を迎えられる事と思います。振り返れば、時間に追われる事は多かったような一月・二月・三月でした。追われてくると心の余裕もなくなります。利用者様と語らせて頂くひとときの時間で、逆に癒して頂く事が多く恥ずかしいばかりの日々でございました。

寿楽荘は、二月二十五日に開設から四十六年目を迎えました。これからもたくさんの方達との出会いを大切に、そして皆様のお力を、お借りしながら一年・二年と積み重ねて参りますので宜しくお願い申し上げます。

青